

防災だより



福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町82 (0776) 36-7631

第 31 号

令和5年 12月 15日

*学校と御家庭で協力しながら防災の取組をしていくために、年に3回「防災だより」を発行します。

地震想定避難訓練



起震車体験

9月5日(火)に地震を想定した避難訓練を行いました。緊急地震速報が流れる中、児童生徒は落ち着いて「シェイクアウト」(上図参照)と叫び、机の下に隠れたり、姿勢を低くして頭を守ったりするなど、身を守る訓練をしました。次に、緊急放送を聞いて速やかに体育館へ避難し、約8分後には、全員が体育館へ無事避難することができました。

その後、小中玄関にて起震車体験をしました。体験するグループに応じて、震度5以上の地震を体験しました。揺れている中でのシェイクアウトは非常に難しく、起震車の中に設置されている机や手すりにつかまるのがやっとの状態の児童生徒が多かったです。地震が起きている中での身の守り方について、再確認できる有意義な訓練となりました。



救命救急講習会を実施しました！



8月21日(月)に、教職員の救命救急法講習会を行いました。つくしの病院副院長吉田正博医師による講演会の後、後半は10グループに分かれインストラクターの指導のもと、基本的心肺蘇生とAEDの使用方法を学びました。

緊急時の的確な判断・対応について再確認することができました。吉田医師からは「人の壁」で周囲の視線から傷病者の尊厳を守ることの大切さも教えていただきました。



防災研修「消火栓訓練」 & 「災害時の対応」



7月25日(火)に、教職員の防災研修として、消火栓を使った放水訓練を行いました。講師の立ち会いのもと、消火栓の使い方を確認しました。その後、3人1組となって、実際に的に向かって放水をしました。水圧が強く、うまく的に当てられないことに驚いた教職員が多かったです。消火栓の準備に時間がかかるため、日頃の訓練の大切さを改めて実感した研修でした。



簡易トイレ

同日に学校にある防災用品についての研修も行いました。持ち出し用の救護セットの中身を確認したり、投光器や蓄電池を見たりしました。また、簡易トイレに実際に座り、ビニール袋の中に実際に凝固剤を入れて水が固まる様子を確認しました。いざという時のために、今後も災害時に備えて防災に関する研修を行っていきたいと思います。

災害時の「トイレ問題」～簡易トイレ&カプセルテント～



災害用備蓄品として、今年度は上段の記事でも紹介した「簡易トイレ」とそれを設置するための「カプセルテント」を購入しました。電気や水がなくても、簡単に設置したり使用したりできます。

その一方で使用済みの便袋をどうやって保管するのか、臭いが気になるなどの問題もあります。しかし、排泄を我慢するために水分を控えたり、トイレに行く回数を減らしたりすることは二次被害につながります。トイレ問題を解決することは私たちの命を守ることです。

ぜひ御家庭でも災害時の「トイレ問題」について話し合ってみてください。



ペーパーホルダーに！
※使用済トイレットペーパー(用紙)は、
※トイレットペーパーは付属していません。



ランタンホルダーにも！



学校ホームページURLはこちら

<http://www.fukuiminami-sh.ed.jp>

学校HPの「危機管理」の中にも、「防災だより」が掲載してありますので、ぜひご覧ください。